



令和元年11月1日(金)  
練馬区立開進第四小学校  
校長 河崎 晃二

# 開四小だより

## 11月号

### 実りの秋へ向かって ～もうすぐ学芸会～

副校長 佐藤 和枝

10月26日(土)5年生が下田移動教室から帰ってきました。友達や先生方と一緒に過ごした3日間は、貴重な体験となったことでしょう。今回のキーワードに、「感謝を伝える。」というのがありました。帰校式は、「おうちの方、友達、先生方に感謝の気持ちを伝えましょう。」という話で締めくくられていました。自分でさばいたあじの開きをお土産に、子供たちはおうちの方にどんな感謝を伝えたのでしょうか。

\*

さて、11月15日(金)16日(土)には、学芸会があります。3年に1度の大きな学校行事なので、保護者・地域の皆様も楽しみにしてくださっていることと思います。

先週から本格的に劇の練習が始まり、校内のあちらこちらからせりふや元気のよい歌声が聞こえてきています。職員室にも水色のシルクハットや黒い海賊の帽子などが現れ、にぎやかになってきました。

学芸会は、みんなで創り上げる喜びを味わうことができる行事です。一つの劇を創り上げる過程には、子供たちにとっていくつもの成長の機会があります。オーディションで難しいセリフの役に挑戦して希望通りになった人もいれば、悔しい思いをした人もいることでしょう。人前に出るのが好きな人もいれば、恥ずかしくてなかなかせりふが言えない人もいることでしょう。せりふをどのように言えば役柄が表現できるのか、どんな動きをすればその場面が盛り上がるのか、友達や教員からアドバイスを受けることでしょう。これらを通して、苦手なことに挑戦したり、試行錯誤したり、友達と協力したり、自分の個性を発揮したりすることで子供たちは成長していきます。そして、本番の舞台上でスポットライトを浴び、客席の注目を集める緊張感を味わい、たくさんの拍手をもらってみんなで創り上げた喜びを味わうことは貴重な体験となるはずです。

また、本人も気付かなかつた能力を発見することがあります。だいぶ前のことですが、普段おとなしくて口数の少なかった女の子が、練習が始まってみると表現力豊かで演技が上手だったので驚いたことがありました。友達や教員からたくさん褒められてすっかり自信を付け、その後教室でも活躍する場面が増えました。

代表委員会で決めたスローガン「役になりきって 楽しくかがやけ みんなの晴れ舞台」の通り、一人一人が輝ける学芸会となるよう指導してまいります。御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

\*

他にも、6日(水)までは、読書週間、19日(火)からは持久走月間と、11月は学習の取組が続きます。芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・と、開四小は秋真っ盛りです。一つ一つに一生懸命取り組み、有意義な実りの秋となるように願っています。